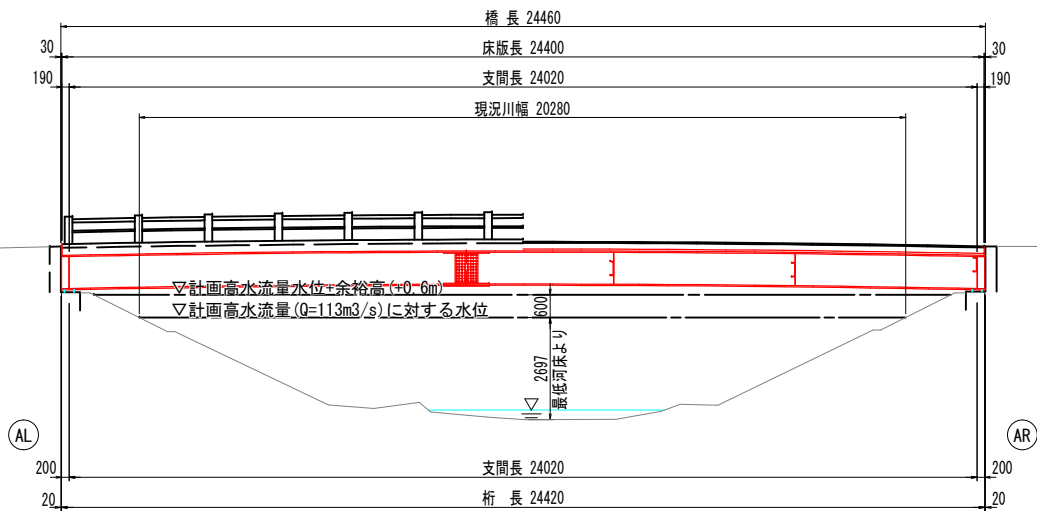


矢代橋橋梁補修一般図

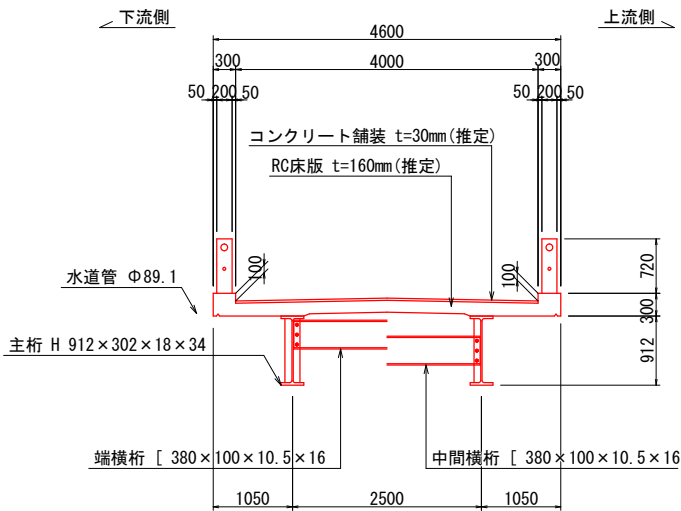
S = 1 : 100 (S=1:200)

側面図



断面図

S = 1:50 (S=1:100)

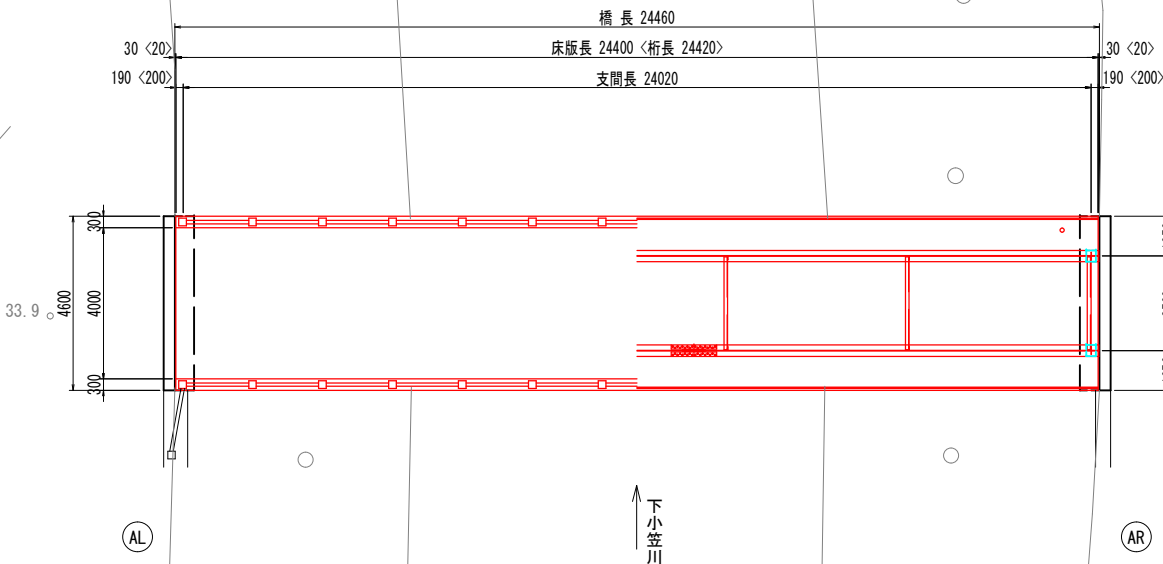


設計条件

既設構造	架設年次	1968年(昭和43年)3月【架橋後55年経過】
	路線名称	(市)落合西線
	上部工形式	鋼単純合成H桁橋(橋梁台帳より)
	交差物	一級河川 菊川水系 下小笠川【管理者:静岡県】
	橋長	24.460m
	床版長	24.420m
	支間長	24.020m
	有効幅員	4.000m
	全幅員	4.600m(0.300m+4.000m+0.300m)
	斜角	90° 00′ 00″
	支承条件	不明
	下部工形式	AL:逆T式橋台(推定) AR:逆T式橋台(推定)
	基礎工形式	AL:既成PC杭(橋梁台帳より) AR:既成PC杭(橋梁台帳より)
	設計活荷重	TL-14(橋梁台帳より)

添架物	下流側:上水道管φ89.1-1条
塩害影響地域	非該当(海岸線からの距離:5.7km)
凍結防止剤散布地域	非該当
適用示方書	S39 鋼道路橋設計示方書、鋼道路橋製作示方書

平面図

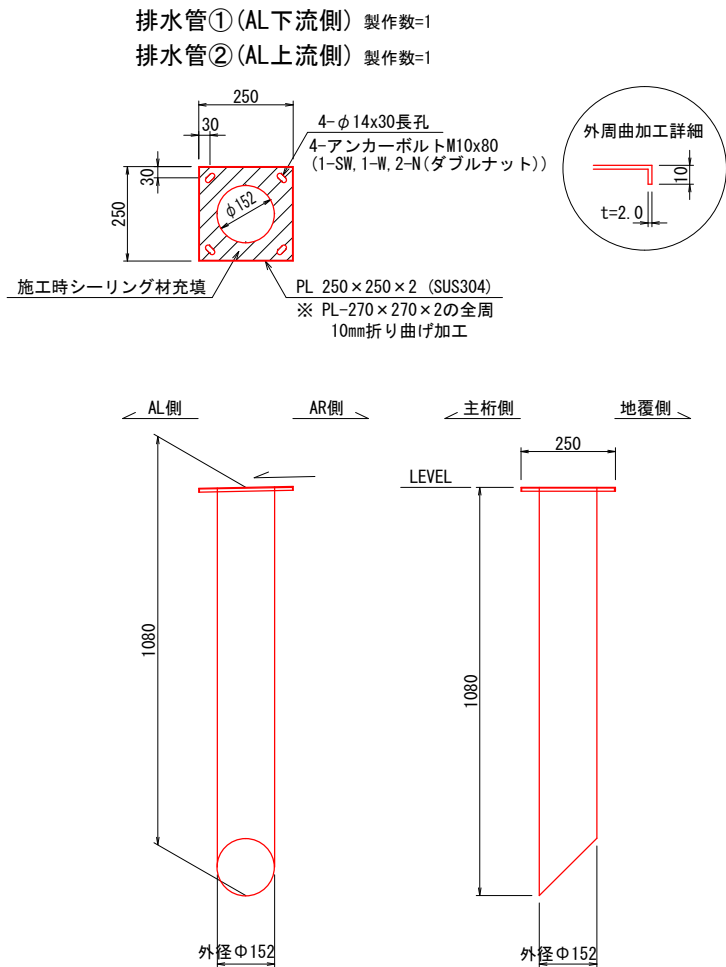


矢代橋

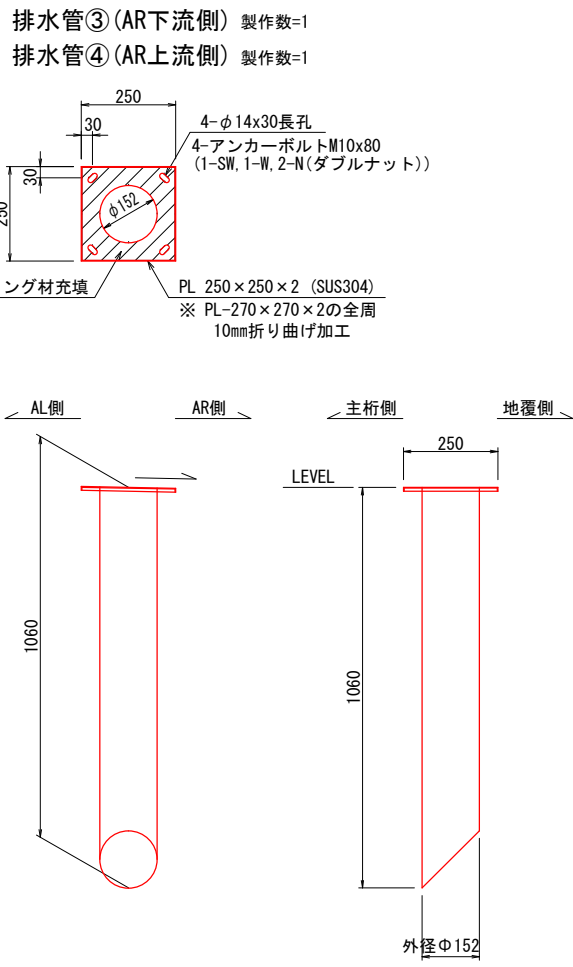
工事名	令和7年度 道路橋梁維持事業 矢代橋橋梁補修工事		
図面の種類	矢代橋橋梁補修一般図		
縮尺	図示 ()内はA3縮小	図面番号 4 葉中 1	
測量年月日	R . . .	設計年月日	R . . .
事務所名	掛川市役所		

排水管補修詳細図

排水管詳細図 S=1:10 (S=1:20)

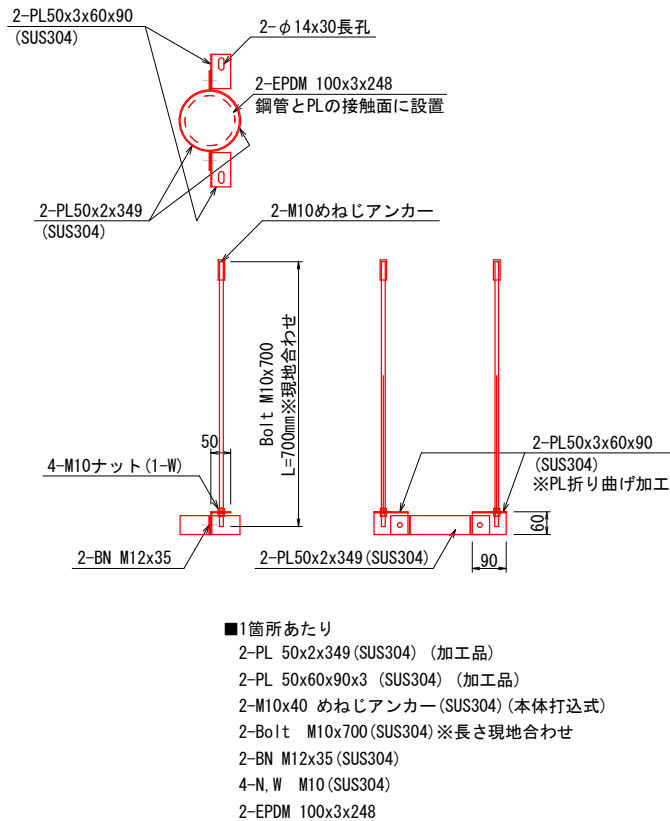


- 1箇所あたり
- 1-φ152 SUS304 L=1080mm t=1.2mm
 - 1-PL 270x270×2 (加工品※) SUS304
 - 4-M10x80 SUS304コンクリートアンカー(スリーブ式) (1-SW, 1-W, 2-N(ダブルナット))
- ※ 270×270×2のPLの全周を10mm折り曲げ加工
- 排水管①、排水管②は流末の45° カットを
橋軸に対して対称とする



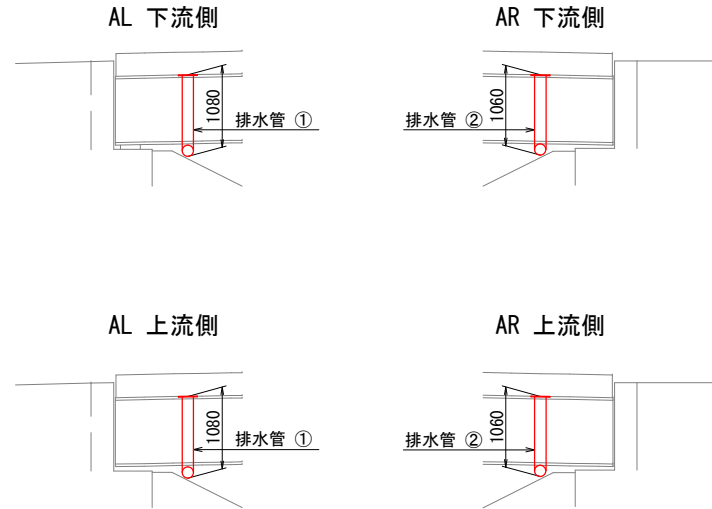
- 1箇所あたり
- 1-φ152 SUS304 L=1060mm t=1.2mm
 - 1-PL 270x270×2 (加工品※) SUS304
 - 4-M10x80 SUS304コンクリートアンカー(スリーブ式) (1-SW, 1-W, 2-N(ダブルナット))
- ※ 270×270×2のPLの全周を10mm折り曲げ加工
- 排水管③、排水管④は流末の45° カットを
橋軸に対して対称とする

吊り金具
製作数=4



- 1箇所あたり
- 2-PL 50x2x349 (SUS304) (加工品)
 - 2-PL 50x60x90x3 (SUS304) (加工品)
 - 2-M10x40 めねじアンカー (SUS304) (本体打込式)
 - 2-Bolt M10x700 (SUS304) ※長さ現地合わせ
 - 2-BN M12x35 (SUS304)
 - 4-N, W M10 (SUS304)
 - 2-EPDM 100x3x248

側面図 S=1:50 (S=1:100)

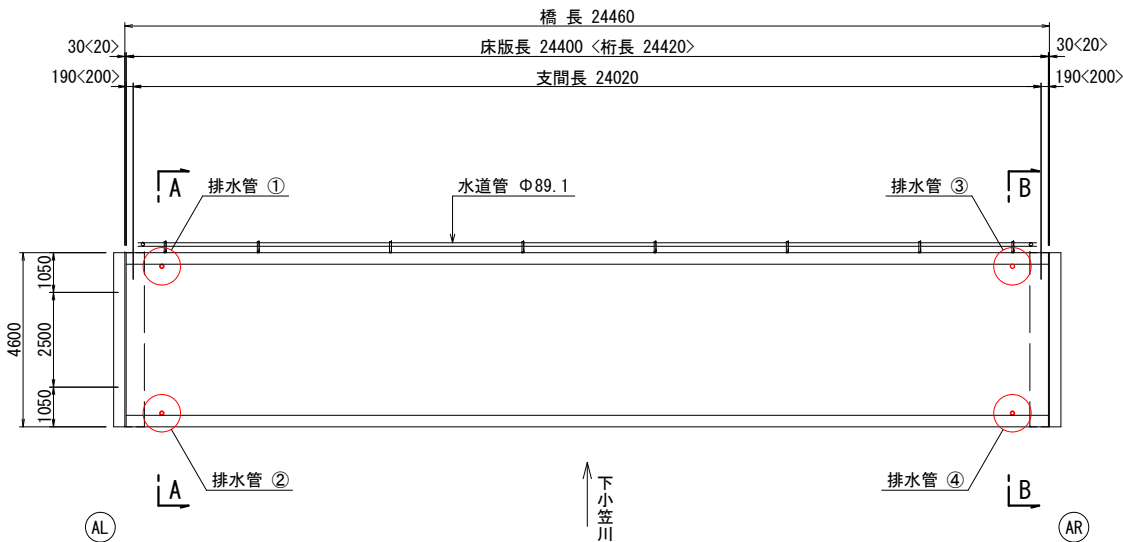


排水管工数量表

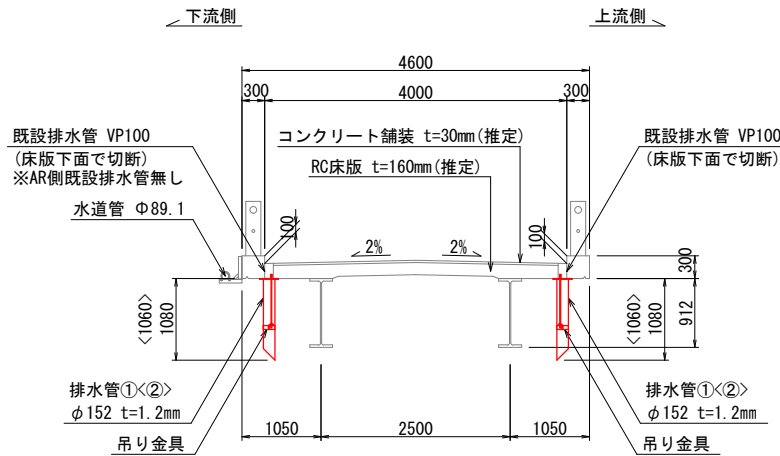
種別	細別	計算式	単位	数量	摘要
排水管延長	AL	1.08×2 = 2.16	m	2.16	
	AR	1.06×2 = 2.12	m	2.12	
計			m	4.28	

- 注) 1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」および「現地調査」等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
2. 材質はすべてSUS304とする。
3. t=2.0mm未満のSUS304鋼材溶接部内外面において耐食性向上の措置を講じること。
4. 寸法や角度は現地調査の上決定すること。

配置図(平面図) S=1:100 (S=1:200)



A - A <B - B>断面図 S=1:50 (S=1:100)



矢代橋

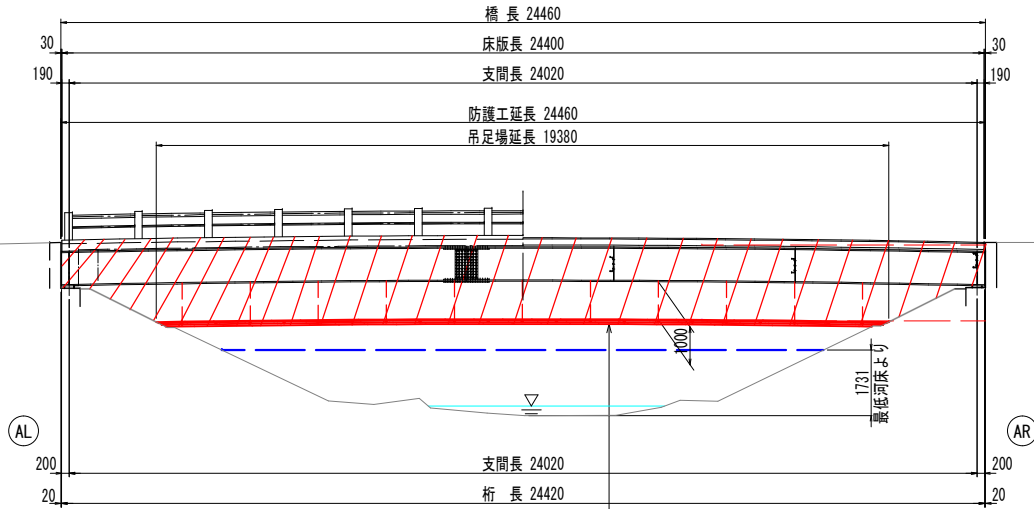
工事名	令和7年度 道路橋梁維持事業 矢代橋橋梁補修工事		
図面の種類	排水管補修詳細図		
縮尺	図示 () 内はA3縮小	図面番号 4 葉中 3	
測量年月日	R . . .	設計年月日	R . . .
事務所名	掛川市役所		

足場工詳細図

S = 1 : 100 (S=1:200)

断面図 S = 1:50 (S=1:100)

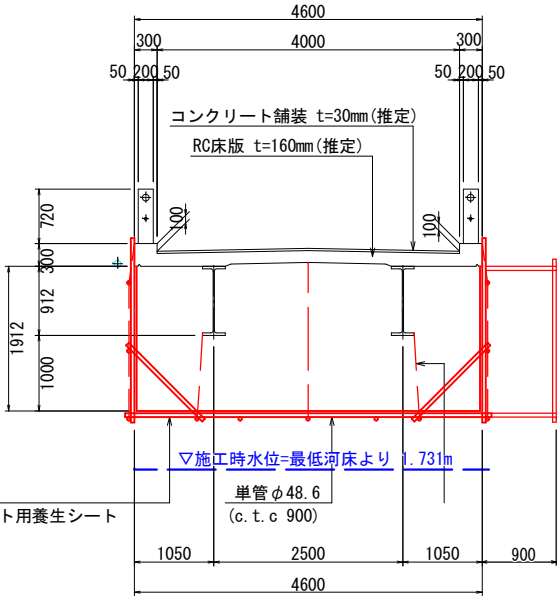
側面図



施工期間最大流量: 46. 6m³/s
◆等流計算
断面積 A=19. 76m²
潤辺 P=16. 695m
径深 R=A/P=19. 76/16. 695=1. 184m
粗度係数 n=0. 030
河床勾配 i=1/250
流速 v=1/n×R^{2/3}×i^{1/2}
=1/0. 030×1. 184^{2/3}×(1/250)^{1/2}
=2. 359m/s
流量 Q=A×v=19. 76×2. 359=46. 6m³/s

足場工(吊り足場)
板張り防護・シート張り防護・プラスト用養生シート

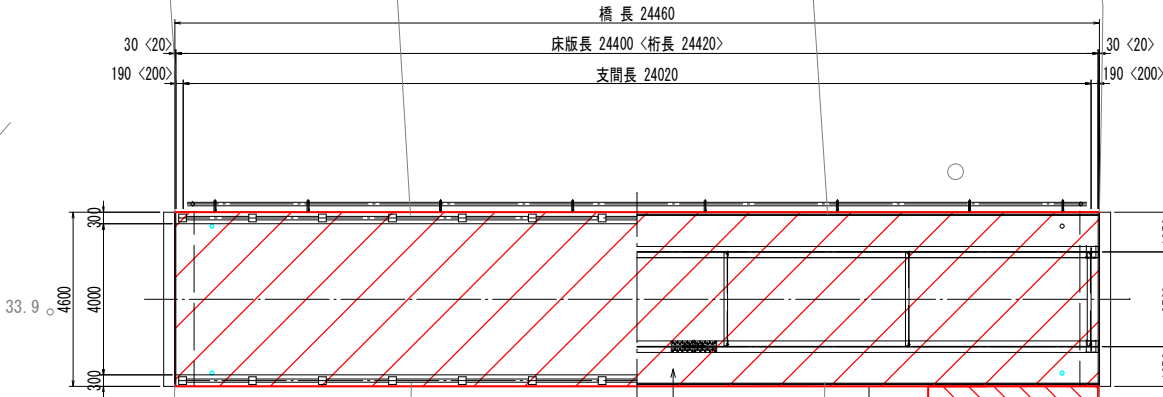
下流側 上流側



足場工(吊り足場)
板張り防護・シート張り防護・プラスト用養生シート

- 注)
- ・足場工の設備は「橋梁架設工事の積算」に準拠している。
 - ・施工に際しては、強度計算を行い適切な部材配置を行うこと。
 - ・コンクリート面にアンカーを設置する際は、鉄筋探査を行い、鋼材を傷つけないように注意すること。
- ・塗装塗替え時の防護のため、朝顔、板張り防護工、シート張防護工を併用すること。
- ・プラスト工法による素地調整のため、粉塵飛散防止を目的として、プラスト用養生設備工を行うこと。
- ・施工時に異常出水が予想される場合は、足場を一時撤去する等の対策を講じること。
- ・突発的な集中豪雨の恐れがある場合は、作業を中止し、河川へ流失の恐れがある資機材は退避させること。
- ・つり足場の上で、脚立、はしご等を用いて労働者に作業させてはならない。

平面図



足場工(吊り足場)
板張り防護・シート張り防護・プラスト用養生シート

クリーンルーム

仮設工数量表

種別	細別	計算式	単位	数量	摘要
足場工	吊足場	19. 38×4. 60=89. 15	m ²	89. 15	
	防護工	24. 46×4. 60=112. 52	m ²	112. 52	
		6. 00×0. 90=5. 40	m ²	5. 40	クリーンルーム

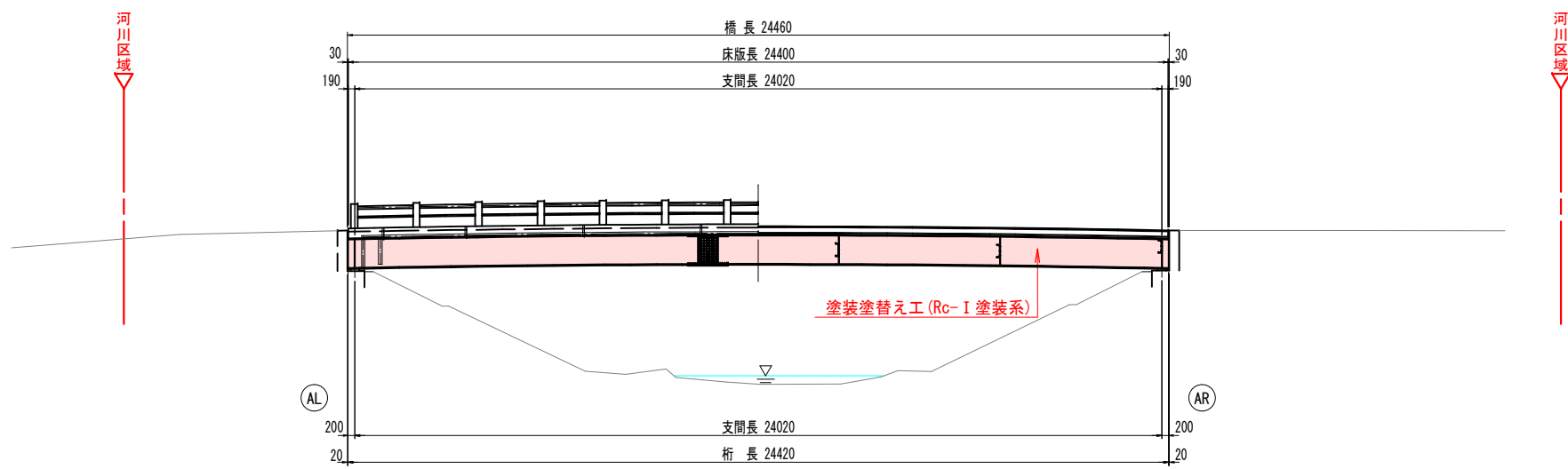
矢代橋

工 事 名	令和 7 年度 道路橋梁維持事業 矢代橋橋梁補修工事		
図面の種類	足場工詳細図		
縮 尺	図示 () 内はA3縮小	図面番号 4 葉 中 4	
測量年月日	R . . .	設計年月日	R . . .
事務所名	掛川市役所		

矢代橋塗替え塗装図

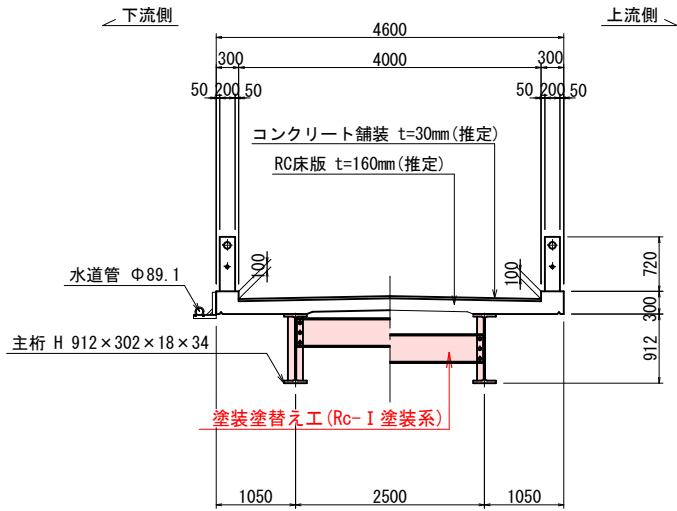
S = 1 : 100 (S=1:200)

側面図

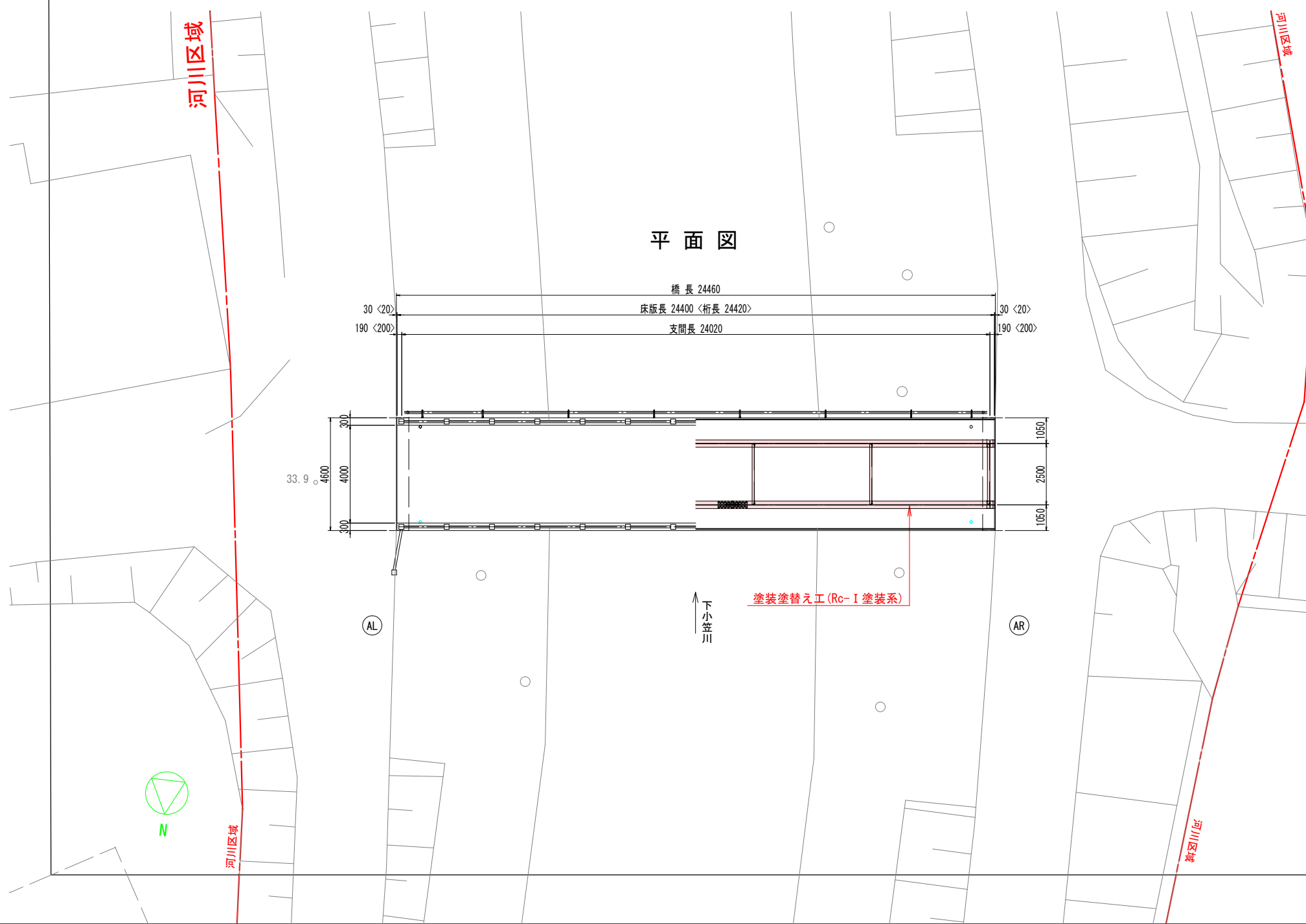


断面図

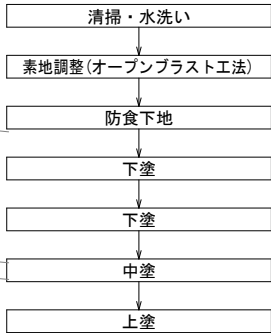
S = 1:50 (S=1:100)



平面図



塗装塗替え工 (Rc-I 塗装系) 施工フロー



塗装工程 (Rc-I 塗装系 スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	I 種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤系フッ素樹脂塗料中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤系フッ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

注1. 本橋の素地調整はオープンブラスト工法を用いて行う。素地調整の際には防護服を着用し、作業者への有害物質の暴露に対処策を講じること。
注2. 1種ケレンでの素地調整のため、ブラスト工法により錆を完全に除去すること。錆を取り切れない場合は、監督員と協議の上、1種ケレンが可能な電動工具等で錆を除去すること。

矢代橋

工 事 名	令和7年度 道路橋梁維持事業 矢代橋橋梁補修工事		
図面の種類	矢代橋橋梁補修一般図		
縮 尺	図示 () 内はA3縮小	図面番号 4 葉中 2	
測量年月日	R . . .	設計年月日 R . . .	
事務所名	掛川市役所		